

ISO 28000 シリーズ（サプライチェーンセキュリティ関係国際規格）の概要

本シリーズは、船舶分野（海上輸送）のみならず、生産又はサプライチェーン*1の全てをも含む物流全体のテロ対策の一環として、上記に係る企業、団体等の保安レベルの向上に資することを目的とした保安関係国際規格の体系であり、今後サプライチェーンに関与する多くの事業者に大きな影響を与えることも予想されます。

*1 サプライチェーン（supply chain）：

資源、材料の調達に始まり、製品・サービスの出荷を経て輸送手段（陸上・海上を含む）を通じてエンドユーザーにまで及ぶプロセス。

ISO/TC 8（国際標準化機構／船舶及び海洋技術専門委員会）は、当初、SOLAS（第 XI-2 章）の ISPS コード（船舶及び港湾施設の保安のための国際コード－2004 年 7 月 1 日発効済）の発効に合わせて、ISO/PAS*2 20858（海事港湾施設の保安評価と保安計画の開発）を開発・制定しました。

*2 PAS: Publicly Available Specification：

国際規格（ISO）の制定の手順に先立って発行される中間仕様書。迅速な開発や発行が優先する場合に用いられ、制定した時点で、プロセスを進めて ISO 規格とすべきかを速やかに決定します。

さらに、サプライチェーン全体の保安レベル向上の方策をより具体化するために、2005 年初頭から、28000 シリーズの整備・策定に着手し、現在次のとおりの規格が公開仕様書（PAS）として発行され、且つ ISO 規格制定に向けた審議の最終段階にあります。

これらの PAS を含む ISO 規格は強制基準ではなく任意であります。国によりましては国内法規への導入なども考えられるため、注意を要します。

1) ISO 28000 – サプライチェーンのためのセキュリティマネジメントシステムの仕様

（PAS 発行日：2005-11-15。

ISO 規格発行見込み：2007 年初旬）

2) ISO 28001 – サプライチェーンのためのセキュリティマネジメントシステム－サプライチェーンセキュリティ実施のための優良実施要領－評価及び計画

（PAS 発行日：2006-09-01。

ISO 規格発行見込み：2007 年中旬）

3) ISO 28003 – サプライチェーンのためのセキュリティマネジメントシステム－サプライチェーンセキュリティマネジメントシステムの監査及び認証を提供する機関の要求事項

（PAS 発行日：2006-10-05。ISO 規格発行見込み：2007 年中旬）

4) ISO 28004 – サプライチェーンのためのセキュリティマネジメントシステム－ISO/PAS 28000 の実施のための指針

（PAS 発行日：2006-09-01。ISO 規格発行見込み：2007 年初旬）

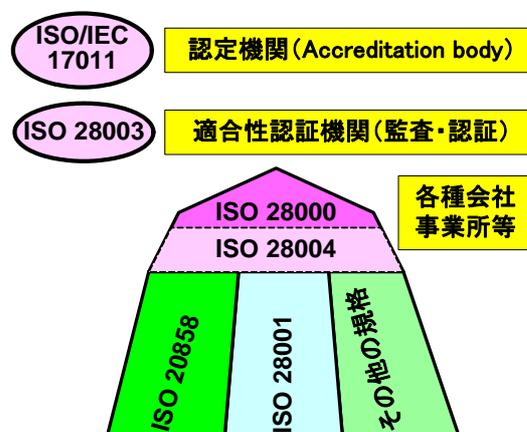


図1 ISO 28000 シリーズの相関関係図

以下、これら ISO 28000 シリーズの概要を紹介します。

① ISO 28000 Specification for security management systems for the supply chain

ISO 28000 策定の目的及び必要性 (Purpose and justification) は以下の通りです。

物流監視機能の強化、密輸の撲滅、海賊行為・テロ攻撃の脅威への対処、そして安全なグローバルサプライチェーン体制の整備を目的としています。

この規格は、ISO 14000 (環境マネジメントシステム) をベースに作成され、PDCA (Plan - Do - Check - Act) サイクルによる継続的な管理システムの向上を規定するもので、2005年11月にPASとして発行され、現在ISO規格発行に向けた最終段階の審議が行なわれています。

② ISO 28001 Security management systems for the supply chain - Best practices for implementing supply chain security - Assessments and plans

ISO 28001 策定の目的及び必要性 (Purpose and justification) は以下の通りです。

武器や危険な密売品の輸出入を予防するため、この規格では、製品・サービスの出荷から、輸送手段を通じてエンドユーザーに届くまでの情報の流れ及び貨物の保安レベルを向上させ、国際的なサプライチェーンのセキュリティ強化を目的としています。

この規格は、米国のC-TPAT、WCO (世界税関機構) のAEO基準 (認定事業者基準) 等の相互承認を進めるに当たり、統一解釈として国際的な期待が寄せられており、ISO 28000 シリーズの中でも最重要案件とされています。

③ ISO 28003 Security management systems for the supply chain - Requirements for bodies providing audit and certification of supply chain security management systems

ISO 28003 策定の目的及び必要性 (Purpose and justification) は以下の通りです。

上述のISO/PAS 28000の認証 (外部監査[第2者及び第3者認証]) を行なう監査機関の要件を定めることを目的としています。

この規格は、ISO/PAS 28000への適合について判定する第三者機関が満たすべき要件を規定するもので、ISO/PAS 28000の自己監査 (内部監査[第1者認証]) (self audit) を行う際には不要とされています。

④ ISO 28004 Security management systems for the supply chain -- Guidelines for the implementation of ISO/PAS 28000

ISO 28004 策定の目的及び必要性 (Purpose and justification) は以下の通りです。

上述のISO/PAS 28000の策定を受けて、同PAS内容を解釈するに当たっての実施指針を定めることを目的としています。

この規格は、ISO/PAS 28000の節 (項目) 毎に、意図 (Intent)、典型的な入力 (Typical input)、手順 (Process)、典型的な出力 (Typical output) を具体的に規定し、ISO/PAS 28000適用のためのガイドラインとなっています。

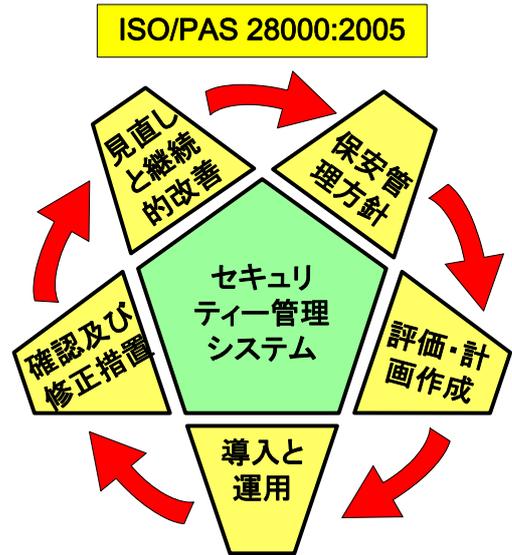


図2 ISO 28000のPDCAサイクル

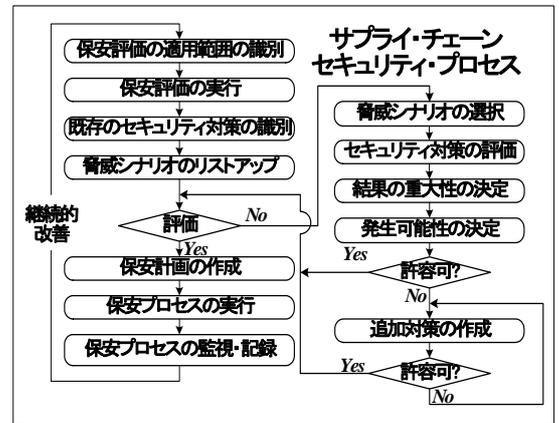


図3 サプライチェーン保安のプロセス